

都市再生整備計画

しゅせんじえきしうへん
修善寺駅周辺地区

しづおか いづ
静岡県 伊豆市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	伊豆市	地区名	修善寺駅周辺地区	面積	31.7 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

大目標: 伊豆の玄関口にふさわしい『訪れやすく住みやすい』誇りあふれる修善寺

- 目標1: 中心市街地として都市機能を高めにぎわい空間を創出する
- 目標2: ユニバーサルデザインに配慮した、安心、安全な空間を創出する
- 目標3: 伊豆の玄関口としての風情を創出する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

まちの衰退を直撃に受け止め、商業者、生活者、行政が手を携えてまちの将来に対する危機感を共有

- ・修善寺駅周辺地区は、古くから観光地として、周辺地域の中心市街地として発展してきた。
- ・観光需要の多様化、モータリゼーションの発達、長引く社会経済情勢の低迷、少子高齢、過疎化の進行に伴い、往年の輝きを失いかけている。
- ・こうした社会経済情勢の変化に抗すべく、市民の参加を求め、様々なまちづくり戦略を立ててきた。
- ・観光まちづくりビジョンでは、①まちづくり、②ものづくり、③ひとづくり、④ことおこしの側面から観光まちづくり方針を示した。
- ・景観形成ガイドラインでは、①温泉情緒を伝える魅力的な商業空間、②緑あふれる明るいまち、③川の雰囲気を大切にした街並みといった景観形成方針を示した。
- ・中心市街地活性化基本計画では、①観光、②駅南北の一体化と駅周辺の拠点強化、③景観形成とアメニティの向上、④店舗集積の強化、⑤商業地としての機能と魅力の強化、⑥人づくりの推進といった活性化方針を示した。
- ・都市計画マスター・プランでは、①ふれあい交流の促進、②円滑・安全・快適・利便性の高い交通環境整備、③自然景観の保全・活用・防災力強化、④ソフト・ハード両面から中心市街地を活性化といったまちづくりの方向性を示した。
- ・そして、平成16年4月、修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町が合併し、「伊豆市」が誕生した。
- ・新市建設計画では、伊豆の玄関口として交流や賑わい拠点、商店や事業所が集積する中心市街地としての再整備を位置づけた。
- ・このように、まちづくり機運が醸成される中、平成14年にまちづくりNPO伊豆のへそ、平成17年にTMO伊豆が立ち上がった。
- ・本都市再生整備計画を作成するにあたり、前述2団体に駅前区住民を加えた修善寺駅前まちづくり会議を発足し、ワークショップ方式でまちづくり戦略を練り上げた。

課題

衰退の兆しが見られる地方中小都市においては、求心力の高い中心市街地の再編が最大の課題

- ・駅周辺の魅力を高め、観光客の滞留時間延長を図る必要がある。
- ・地域に貢献できる中心市街地を目指し、社会的ニーズを汲み取ることで、生活のしやすさという側面からも中心市街地を再編していく必要がある。
- ・自らのアイデンティティを見つめなおし、強くアピールする景観形成は、地域に対する誇りを高めるとともに、社会的要請事項でもある。
- ・高齢者や車椅子利用者の歩行環境を改善させる必要がある。
- ・これらの課題解決に向け、大正期に整備された社会基盤の再整備と、地域住民や商業者を抱きこんだまちづくりを進めていく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

求心力の高い中心市街地に再編していくために、公共交通機関の利用者増、自動車交通流の整流化、居住環境の満足度を高める

- ・新市建設計画・都市計画マスター・プランにおいて、伊豆の玄関口として交流・賑わい拠点、中心市街地としての魅力形成が位置づけられていることから、公共交通機関の利用者増と自動車交通の整流化を図り、交流・賑わい機能を高めていく。
- ・中心市街地活性化基本計画との連携を高めながら、歩いて楽しい、地域に貢献できる商店街へ転換していく。
- ・景観形成ガイドライン、観光のまちづくりビジョンにおいて、温泉情緒をキーワードにした顔づくりが位置づけられていることから、修善寺らしい景観づくりを積極的に進めていく。
- ・修善寺駅周辺の交流、賑わい機能を高め、活性化することで、修善寺駅周辺地区の魅力度を高め、生活者の満足度を高めていく。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目 標 値	目 標 年 度
駅周辺整備満足度	%	利用者アンケートによる駅周辺に対する満足度	駅周辺整備により都市機能を向上し住民と利用者の満足度を高める	2.4%	H21	30%	H26
歩行者交通量	人	駅周辺の歩行者交通量	駅周辺整備により地域の魅力を高め賑わいを創出する	1186人／12時間	H21	1200人／12時	H26
車両混雑解消満足度	%	バス・タクシー会社運転手へのアンケート	駅周辺整備により車両混雑の解消を図り、駅周辺利用者の安全・安心感を高める	20.9%	H21	5.0%	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1:中心市街地としての拠点機能強化 ・駅周辺の利便性の向上 ・伊豆にふさわしい賑わい空間の創出 ・伊豆観光の出発点としての機能強化	<ul style="list-style-type: none">・公園(基幹事業):公園・地域生活基盤施設・広場(基幹事業):駅広場(3箇所)・地域生活基盤施設(基幹事業):情報案内板・高次都市施設・観光交流(基幹事業):観光案内所・高次都市施設・人工地盤(基幹事業):駅北広場整備・事業活用調査(提案事業):事業効果計測調査・まちづくり活動推進事業(提案事業):修善寺駅周辺利用者検討委員会
整備方針2:安全、安心な空間整備 ・歩行者空間の充実 ・自動車交通流の整流化	<ul style="list-style-type: none">・道路(基幹事業):新町線(右折レーン設置)・地域生活基盤施設・広場(基幹事業):駅広場(3箇所)・高次都市施設・人工地盤(基幹事業):駅北広場整備・高質空間形成施設(基幹事業)修景舗装,歩道整備
整備方針3:伊豆の玄関口としての風情の創出 ・修善寺駅を降りたときに、旅の期待感を高める駅前広場整備 ・期待感を裏切らない、そぞろ歩きしたくなる周辺道路の高質化	<ul style="list-style-type: none">・地域生活基盤施設・広場(基幹事業):駅広場(3箇所)・高質空間形成施設(基幹事業)修景舗装,歩道整備

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,857	交付限度額	742	国費率	0.400
---------	-------	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

合計														
検索事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果計測調査	一	伊豆市	直	一	H26	H26	H26	H26	4	4	4	4	4
まちづくり活動推進事業	利用者検討委員会	一	伊豆市	直	一	H22	H25	H22	H25	16	16	16	16	16
合計										20	20	20	0	20

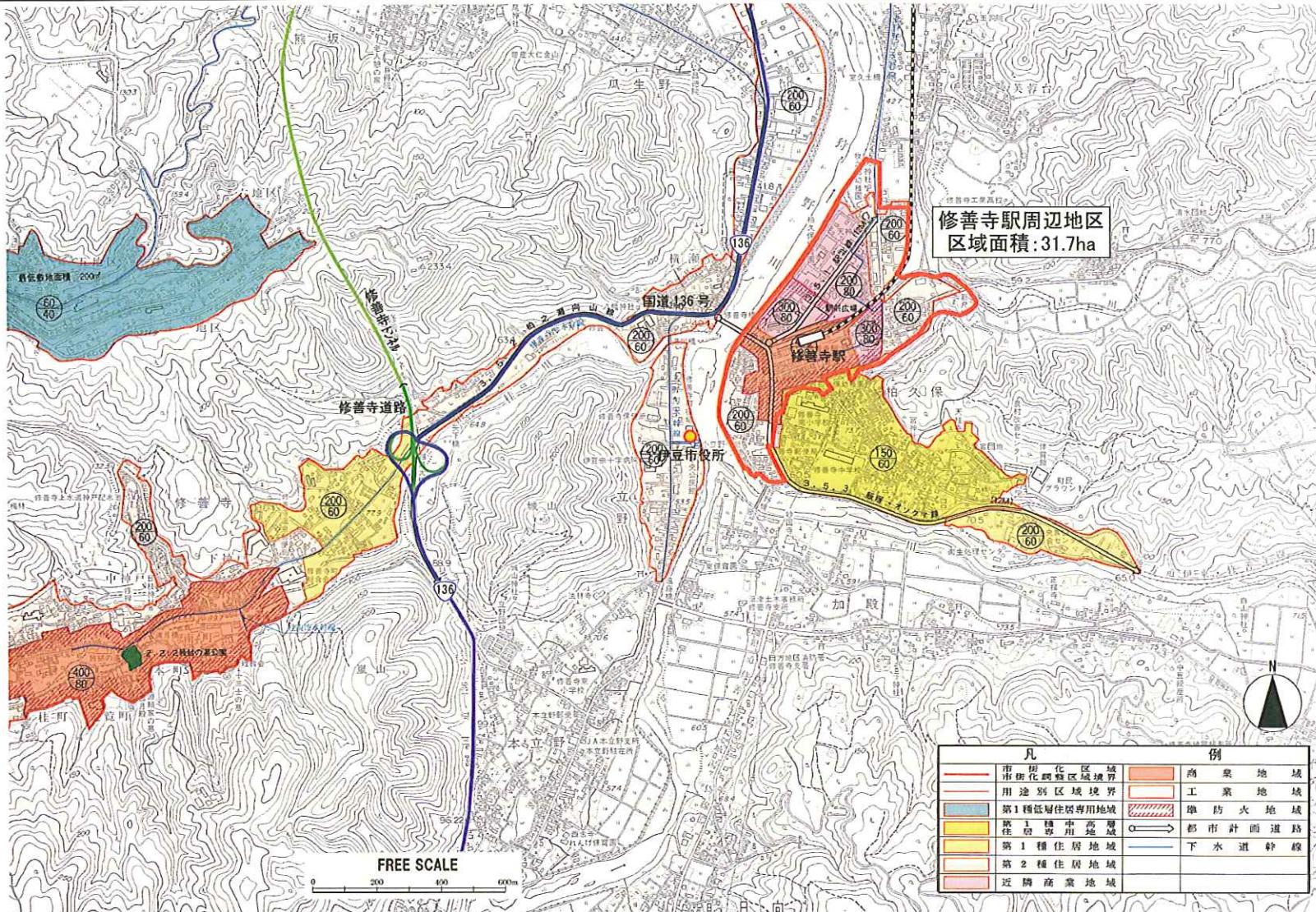
都市再生整備計画の区域

修善寺駅周辺地区 (静岡県伊豆市)

面積

31.7 ha

区域 伊豆市柏久保



修善寺駅周辺地区（静岡県伊豆市）整備方針概要図

目標	大目標: 伊豆の玄関口にふさわしい『訪れやすくて住みやすい』誇りあふれる修善寺	代表的な指標	駅周辺整備満足度 (%)	2.40% (H21年度) → 30% (H26年度)
	目標1: 中心市街地として都市機能を高めにぎわい空間を創出する		歩行者交通量 (人)	1186人 (H21年度) → 1200人 (H26年度)
	目標2: ユニバーサルデザインに配慮した、安心、安全な空間を創出する		車両混雑解消満足度 (%)	20.9% (H21年度) → 5% (H26年度)
	目標3: 伊豆の玄関口としての風情を創出する			

